

様式 1 【国語科・小5・表現を工夫する「日常を十七音で」】①

育成を目指す資質・能力

- (知識および技能) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 (1)オ
・比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。 (1)ク
- (思考力、判断力、表現力等) ・文の書き表し方などに着目して、文を整えることができる。 Bオ
・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。 Bカ
- (学びに向かう人間性) ・言葉がもつよさを認識するとともに、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度。

ICT活用のポイント

- ・ホワイトボードアプリを用いてそれぞれの児童の考えを共有することによって、自分の表現したい心情や情景にふさわしい言葉・技法を選んで表現できるようにする。
- ・プレゼンテーションソフトを活用することによって、お互いの作品を評価し合う場面の効率化を図る。

【つかむ】

俳句のきまりや表現の工夫に気付き、単元の見直しをもつ。

【単元の課題】

言葉にこだわって、感じたことや気付いたことを俳句にしよう。

【追究する】

心情を表す言葉や季節からイメージする言葉などを出し合い、自分の経験や思いを俳句に表現する。

【まとめる】

句会を開き、感想や意見を交流し推敲する。

事例の概要

- 俳句の題材となる事物や、言葉のもつイメージを膨らませるために、マッピングやXチャート、Yチャートなどのシンキングツールを活用する。
- 句会を開き、言葉の選び方や比喩などの表現の工夫、語順・表記の仕方について感想や意見を交流することを通して、自分の俳句のよさに気づき、さらに推敲してよりよい俳句になるように工夫する。

【事例におけるICT活用の場面①】

- 俳句の材料となる言葉を集める際に、**ホワイトボードアプリ**を用いて、マッピングやチャートの内容をグループごとに**交流**することによって、**言葉のもつイメージを豊かに膨らませる**。

【事例におけるICT活用の場面②】

- プレゼンテーションソフト**を用いることによって、お互いの俳句を見合い、コメント機能で感想や俳句をよりよくするための意見を**交流**する。

【国語科・小5・表現を工夫する「日常を十七音で」②】

【事例におけるICT活用場面①】

うれし泣き ヤッター 走る 走りにっこりと キラキラ
 夢みたい ガッツポーズ 笑顔 驚く ピース ウキウキと
 心がはずむ 満面の笑み ありがとう ジャンプ 踊る わくわくと
 涙が出るほど 倒れそう 行動・表情 うれしい 様子・音 ニコニコ やったー！
 心が弾ける 走り出しそう たとえ うれい よっしや
 飛び跳ねそう 天国のような 似た意味 楽し 大喜び
 しっしんする 目が飛び出る 大喜び 最高
 心臓が飛び出る 大喜び 最高
 宝石みたい イーイー 大喜び 最高
 大笑い 幸せ

五音の言葉
 うれし泣き
 夢みたい 夢のよう
 雨雲と
 汗流し 星月夜
 雨強し
 夢の国
 ボールけり
 雨雲と

七音の言葉
 輝く笑顔
 ついに始まる
 涙出るほど
 シャワーのように
 ボールをけて
 友といっしょに
 空に広がる
 夢のページを

気持ちを表す言葉には、色々な表現の仕方があるんだね!!

ここにまとめた言葉を使えばいい俳句が作れそうだな。がんばってみよう!!

- 俳句の材料となる言葉を集める際に、ホワイトボードアプリを用いてグループごとに考えを共有することによって、個人では思いつかないような表現にも気づくことができ、言葉選びの選択肢が増えた。
- マッピングやXチャートといったシンキングツールを活用して集めた言葉を、五音・七音に調整し、ホワイトボードアプリ上のフィッシュボーン図にまとめた。このフィッシュボーン図も学習支援ソフトを使ってクラス内で共有することによって、自分の心情や情景に合った言葉を選ぶことができた。

【事例におけるICT活用場面②】

あつまつけ のそのそ歩く かたつむり

学校に登校している途中に通学路で葉っぱの上で、雨に打たれながら頑張って、のそのそ歩いている様子を見つけた。見つけたのときのうれしい気持ちを「あつまつけ」という言葉で表現しました。

「あつまつけ」という言葉が、かわいらしくていいですね!

「のそのそ」という言葉がかたつむりのゆっくり動く様子を上手に表しているなと思いました。

色々な人にアドバイスをもらえて良かった。もっといい俳句を作りたい!!

自分の俳句をほめてもらえてうれしいな。自分の俳句に自信がもてた!!

- プレゼンテーションソフトを用いて、お互いの俳句を読み合いコメント機能で感想や俳句をよりよくするための意見を交流した。コメント機能を活用することによって、複数の児童が同時に書き込むことができ、1つの俳句に対してより多くの感想などを書き込むことができた。
- ICTを活用することによって、児童の作品を印刷して配付する必要がなくなった。また、他のクラスの作品を共有することも容易になった。

【活用したソフトや機能】

- ・ホワイトボードアプリ
- ・プレゼンテーションソフト
- ・学習支援ソフト
- ・コメント機能